

旭硝子株式会社 2013 年度 12 月期 第2四半期決算 主な質疑応答

広報・IR 室

【全社】

Q1. 通期の業績見通しを下方修正した要因を教えてください。

A1. 主に欧州建築用ガラス事業とディスプレイ事業で通期業績が当初見通しに対して未達となる可能性が高まったため、通期の業績見通しを修正しました。

欧州建築用ガラス事業は、想定を上回る厳しい事業環境のため、出荷数量、価格水準ともに当初想定を下回っています。ディスプレイ事業は円安により海外子会社のコストが当初想定より上昇しています。

Q2. 今期はどの程度の特別損益を見込んでいますか？

A2. 人員削減や減損など通期で 300 億円の特別損失を見込んでいます。

【ガラス】

Q1. 欧州建築用ガラス事業の状況について教えてください。

A1. 第2四半期は季節性により需要が増加し、前四半期比で出荷数量、価格ともに改善しましたが、当初見込みほどではありませんでした。

第3四半期も引き続き季節性による需要の増加が見込まれるため、出荷数量の増加、価格水準の回復を期待しています。

【電子】

Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。

A1. 第2四半期は出荷数量が1桁後半%の増加、価格の下落幅は前四半期と同水準となりました。

Q2. 液晶用ガラス基板の出荷はどの地域が強かったのでしょうか。

A2. 中国、台湾向けの出荷が好調でした。

Q3. 化学強化用特殊ガラス(ドラゴントレイル)の出荷動向を教えてください。

A3. 採用機種数は順調に増加しています。ただし、第2四半期については市場そのものが不需要期であること、また搭載機種による出荷の波もあり、出荷数量は前四半期に比べて減少しました。

以 上